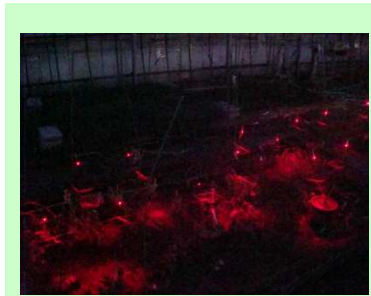


受験生の皆さんへ

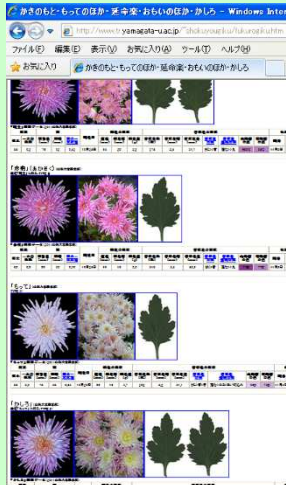
『環境負荷の少ない花き生産と在来植物の保全・利用』

山形大学農学部安全農産物生産学コース

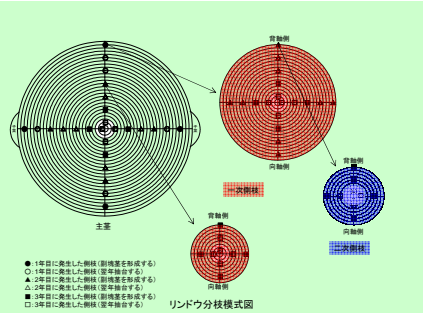
准教授 小笠原 宣好 (OGASAWARA, Nobuyoshi)



LED光照射による花きの開花調節



食用菊データベース



リンドウの成長解析

私たちの生活にとって花は欠かせない存在となっていますが、切り花や鉢花の生産には照明や冷暖房、施設資材など多くのエネルギーを必要としています。将来にわたって美しい花を消費者に供給し続けるためには、花き生産における環境負荷をいかに減らすかが課題となっており、限られたエネルギーで効率よく花を咲かせるための研究を行っています。

一方、日本各地にはその地方の気候風土に適した在来の植物があり、その価値が認められないままうずもれてしまっている植物もたくさんあります。研究室では、山形県や東北地方の在来植物を利活用するために、その特性の調査や分類・保存も行なっています。

専門分野： 花卉園芸学
自己紹介： 専門は花卉生産ですが、ホントは野生の花が好きです。

連絡先： 0235-28-2830
e-mail : nobuyosi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

